

～より良い保育をめざして～

向日市公立保育所整備計画

平成22年3月

向日市健康福祉部子育て支援課

第1 計画の目的・背景等

1 目的

本計画は、保育施策や地域の子育て支援の拡充を図り、公立保育所の建物の老朽化等の課題に対応するため、今後の保育所整備や運営方針についての考え方と、その進め方等を定めるものです。

2 背景

(1)本格的な少子化の時代の到来

近年、合計特殊出生率は急速に低下するとともに、総人口が減少傾向にあるなど、我が国は本格的な少子化時代を迎えようとしています。

少子化の進行は、家族生活や地域社会の変容のほか、高齢化による医療や福祉といった社会保障に関する現役世代の負担の増加、労働人口の減少による経済成長率の低下等、社会全体の様々な局面において大きな影響を与えることが懸念されます。

(2)これまでの少子化の取り組み

少子化の要因として、育児の負担感や仕事との両立の負担感等による女性の未婚率の上昇、個人の結婚観や価値観の変化、育児に関する経済的負担感等が考えられます。

こうした要因を踏まえ、国は、地方自治体等と連携を取りながら、子育てに喜びや楽しみを持ち、子どもを安心して生み育てることができる

社会、子ども自身が健やかに育っていける社会の構築を目指し、子育てと仕事の両立支援の推進・家庭における子育て支援・子育てコストの軽減等、様々な角度から少子化対策に取り組まれているところであります。

向日市では、「向日市子育て支援計画(平成15年3月策定)」、「向日市次世代育成支援対策行動計画(平成17年3月策定・平成22年度後期計画として見直し)」に基づき、児童福祉はもとより健康づくりやまちづくり等のあらゆる分野において、子どもたちが健やかに成長できる環境や安心して子育てができる環境づくりを総合的かつ体系的に進めてきました。

(3)施設保育の役割と社会状況の変化

向日市では、昭和39年に、最初の公立保育所として「(旧)第1保育所」が、続いて、昭和42年に民間の「あひるが丘保育園」が設立されました。昭和40年代から都市化が進み、人口急増に伴う「保育に欠ける」乳幼児数の急増により、保育需要への性急な対応が求められ、保育所の増設をした結果、昭和49年には、公立保育所6か所、民間保育園1か所、合わせて7保育所(園)を有し、公立保育所においては、市内施設保育の先導的な役割を果たしてきたところであります。

その後、就学前児童数の推移はほぼ横ばい状態でありましたが、出生数の減少等により徐々に減少し、少子化と高齢化が急速にすすみ、保育需要も減少傾向となってきました。

しかし、平成9年頃から、就学前児童数が徐々に増加、加えて、女性

の就労機会が増大したこともあり、保育所入所児童数が増加するようになってきました。

この保育需要に対応すべく、増改築により定員の増加を図る一方、平成15年度に近接して老朽化が著しかった(旧)第1保育所と(旧)第4保育所を統合し、平成16年度から、第1保育所として新設、平成18年度には民間の「さくらキッズ保育園」が認可、平成19年度には同じく民間の「アスク向日保育園」が認可され、その結果、現在は公立保育所5か所、民間保育園3か所、合わせて8保育所(園)を有しています。

平成21年4月現在、公立保育所に810人、民間保育所に282人、合計1,092人の児童が入所しており、公立・民間の保育所が両輪となって保育を実施しています。

向日市の近年の保育状況を見ると、保育所に希望しても入所することができない待機児童の数は、4月においては解消しているものの、年度末には多数の待機児童を抱える状態であり、待機児童の解消が喫緊の課題となっています。なお、平成21年10月1日現在、保育所入所児童数は1,105名、待機児童数は9名となっています。

近年、子育てを取り巻く環境は大きく様変わりしており、国の取り組みにおいても、従来の施設保育に加え、保育サービスの充実が重要施策に位置づけられる等、今後の施設保育には、必要な時にいつでも利用できる「多様」で「良質」なサービス提供が求められています。また、個人の仕事と生活の両立が尊重される社会を目指す「ワーク・ライフ・バ

ランス（仕事と生活の調和）」の観点からも、その多様性はより重要とされています。

向日市においては、厳しい財政状況にあって、一定の財源や人員を確保し、公立保育所、民間保育所がともに、待機児童の解消及び多様化する保育需要への対応、地域の子育て支援の推進等の施策の拡充を図るとともに、その基盤となる保育所を整備し、将来にわたって、保育環境の維持向上を図っていく必要があります。

3 計画期間

平成22年度～平成26年度までの5年間

第2 向日市の人口推計と保育所の概要

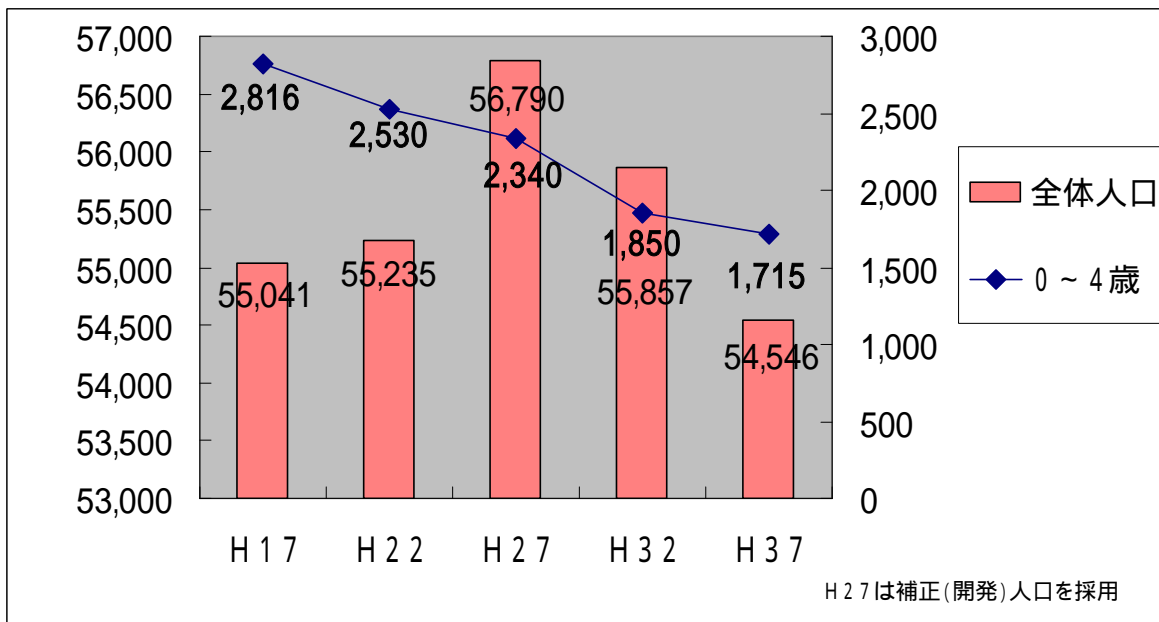
1 就学前児童の人口の推移

向日市の人口は、昭和62年に5万3千人台となり、平成14年まで5万3千人台の横ばいの状況で推移してきました。ところが、平成15年以降、企業跡地にまとまった住宅開発が行なわれるとともに、マンション建設等も相次いでいます。

こうしたなか、平成16年には5万4千人台に、平成17年には5万5千人台となりました。これに連動する形で、就学前児童数も増加していましたが、ここ近年は全国規模の少子・高齢化と同様、就学前児童数は減少傾向にあります。

向日市の将来人口については、第5次向日市総合計画において、平成27年には総人口56,790人と推計し、平成17年と比較して1,749人増加すると予測していますが、0歳から4歳までの年齢区分で見ると、平成27年には2,340人で、平成17年と比較して476人減少すると予想しています。

【将来人口の推移】 (人)



2 施設保育需要等の推移

就学前児童の保育は、保育所や幼稚園などの「施設保育」と家庭の保護者による「在宅保育」に大別されます。その施設保育において、保育所と幼稚園の入所状況を比較すると、ここ近年、保育所が幼稚園を上回っており、保育所に対する市民ニーズが高いことが伺えます。しかしな

から、少子化が進行すると予想される今後においては、このニーズがどのように推移するのか、不透明な部分もあります。

【保育所及び幼稚園入所児童数の状況】（人）

		0歳児		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児		合計	
		児童数	%	児童数	%	児童数	%	児童数	%	児童数	%	児童数	%	児童数	%
14年度	児童数	507	100.0%	541	100.0%	562	100.0%	535	100.0%	529	100.0%	531	100.0%	3,205	100.0%
	保育所	60	11.8%	110	20.3%	154	27.4%	190	35.5%	176	33.3%	168	31.6%	858	26.8%
	幼稚園					0	0.0%	251	46.9%	327	61.8%	350	65.9%	928	29.0%
15年度	児童数	516	100.0%	520	100.0%	534	100.0%	553	100.0%	541	100.0%	520	100.0%	3,184	100.0%
	保育所	64	12.4%	129	24.8%	134	25.1%	193	34.9%	198	36.6%	180	34.6%	898	28.2%
	幼稚園					0	0.0%	278	50.3%	329	60.8%	321	61.7%	928	29.1%
16年度	児童数	519	100.0%	531	100.0%	552	100.0%	550	100.0%	565	100.0%	522	100.0%	3,239	100.0%
	保育所	75	14.5%	127	23.9%	184	33.3%	175	31.8%	207	36.6%	193	37.0%	961	29.7%
	幼稚園					6	1.1%	289	52.5%	339	60.0%	315	60.3%	949	29.3%
17年度	児童数	594	100.0%	535	100.0%	551	100.0%	585	100.0%	552	100.0%	567	100.0%	3,384	100.0%
	保育所	82	13.8%	150	28.0%	159	28.9%	212	36.2%	192	34.8%	204	36.0%	999	29.5%
	幼稚園					1	0.2%	284	48.5%	336	60.9%	347	61.2%	968	28.6%
18年度	児童数	544	100.0%	604	100.0%	533	100.0%	549	100.0%	575	100.0%	544	100.0%	3,349	100.0%
	保育所	58	10.7%	175	29.0%	173	32.5%	188	34.2%	223	38.8%	196	36.0%	1,013	30.2%
	幼稚園					6	1.1%	301	54.8%	333	57.9%	332	61.0%	972	29.0%
19年度	児童数	559	100.0%	568	100.0%	611	100.0%	544	100.0%	549	100.0%	571	100.0%	3,402	100.0%
	保育所	82	14.7%	158	27.8%	208	34.0%	208	38.2%	193	35.2%	224	39.2%	1,073	31.5%
	幼稚園					11	1.8%	280	51.5%	331	60.3%	333	58.3%	955	28.1%
20年度	児童数	575	100.0%	540	100.0%	558	100.0%	598	100.0%	544	100.0%	536	100.0%	3,351	100.0%
	保育所	79	13.7%	162	30.0%	177	31.7%	231	38.6%	208	38.2%	193	36.0%	1,050	31.3%
	幼稚園					5	0.9%	316	52.8%	321	59.0%	328	61.2%	970	28.9%
21年度	児童数	525	100.0%	569	100.0%	532	100.0%	544	100.0%	593	100.0%	538	100.0%	3,301	100.0%
	保育所	70	13.3%	180	31.6%	195	36.7%	202	37.1%	247	41.7%	207	38.5%	1,101	33.4%
	幼稚園					3	0.6%	313	57.5%	329	55.5%	321	59.7%	966	29.3%

児童数は、毎年4月1日現在の住民基本台帳及び外国人登録人口

保育所及び幼稚園の児童数は、毎年5月1日現在在籍児童数

3 保育所の概要

向日市では、保育需要を適正に見極めながら必要な入所定員の確保に努めていますが、認可保育所の定員充足率が100%を超えるなど、慢性的に入所児童数が定員を超えた状態が続いています。なお、市内の認可外の保育施設は、現在0か所となっています。

また、延長保育(午後7時まで)については、すべての保育所で実施しており、一時預かりについては、第1保育所とあひるが丘保育園の2園で実施しています。

【保育所の状況】(人)

		開所(園)年度	入所定員	入所児童数	定員充足率
公立	第1保育所	平成16年度	230	242	105.2%
	第2保育所	昭和43年度	120	131	109.2%
	第3保育所	昭和45年度	120	126	105.0%
	第5保育所	昭和47年度	120	147	122.5%
	第6保育所	昭和49年度	150	163	108.7%
小計			740	809	109.3%
民間	あひるが丘保育園	昭和42年度	120	146	121.7%
	さくらキッズ保育園	平成18年度	20	20	100.0%
	アスク向日保育園	平成19年度	110	130	118.2%
小計			250	296	118.4%
合計			990	1,105	111.6%

平成21年10月1日現在

第3 保育施策の推進と保育所整備の考え方

「向日市公立保育所のあり方検討委員会」の報告書で示された基本的な考え方に対応して、保育所整備を次のとおり進めます。

1 今後の公立保育所のあり方の基本的な考え方

(1)保育について

- ・ 通常保育の充実
- ・ 多様化する保育需要への対応
- ・ 地域の子育て支援の推進

(2)施設について

- ・ 安全・安心な保育施設の整備

(3)効率的な運営について

- ・ 保育の質を維持・向上できることを条件に、民間活力の導入を検討
- ・ 公的保育の責任の下、保育の財源や人員等の確保

(4)保育の質の向上について

- ・ 保育の質を確保し、更に向上させるシステムの構築

2 基本的な考え方に対応した保育所整備等の方針

(1)保育所の整備・充実

- ・ 市全体の保育需要を見極め、待機児童解消、及び多様な保育ニーズに対応できることを目的に社会福祉法人による新設保育所を整備(平成24年4月開設予定)します。

- ・保育所受入枠拡大の推移を見極めた上で、育児休業取得期間中の保育所継続入所範囲を拡大します。
- ・保育所の改修、改築等に際しては、入所人員増や多様化する保育需要等に対応した施設整備を促進します。

(2) 公立保育所の統廃合

- ・保育需要の動向、定員充足率、待機児童数、財政状況等を総合的に勘案し、順次検討を進めることとします。

(3) 地域の子育て支援の推進

- ・公立保育所・地域子育て支援センターを充実させ、市役所や保健所、主任児童委員等の関係機関と連携して地域の子育て支援の拠点として活動します。
- ・保育の質の確保・向上のため、情報交流、事例研究、研修等を通じた保育所間のネットワーク化の推進を行います。

3 公立保育所の現状と整備方針

現在の状況、及び今後の保育状況等を推測し、保育所の老朽化・耐震化の対応、待機児童の解消、多様な保育ニーズへの対応を図るため、次のとおりの対応を行います。

保育所名	第 1 保育所
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築年度 平成 1 6 年 (2 0 0 4 年) 度 ・ 定 員 2 3 0 人 ・ 構 造 鉄筋コンクリート造り 2 階建て ・ 敷地面積 2 , 5 7 8 m² ・ 延床面積 1 , 8 8 7 m²
現 状	<p>市内最大の保育所であり、市の子育て支援の中核を担っている施設です。 建物については、平成 1 6 年建築で、耐震についても対応できています。</p>
整備・運営方針	<p>施設については、今後、経年とともに修理・修繕の箇所が出てくることから、修理・修繕等について、計画的に実施し、環境の改善に努めます。 運営については、一時預かり、子育て支援センター（さくら）事業も併設して実施している施設であるため、今後についても、市の子育て支援施策の中核を担う施設として、また、今後の保育ニーズにも対応できるような施設に向け、充実させていきます。</p>

保育所名	第 2 保育所
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築年度 昭和 4 3 年 (1 9 6 8 年) 度 ・ 定 員 1 2 0 人 ・ 構 造 木造平屋建て ・ 敷地面積 1 , 8 8 7 m² ・ 延床面積 7 5 7 m²
現 状	<p>昭和 4 3 年建築の木造施設で、4 1 年が経過し、老朽化が進んでいることから、毎年、修理・修繕を行い、環境の改善に努めています。</p>
整備・運営方針	<p>今後、保育制度の改革、入所児童の増加、子育て相談などの多様な保育ニーズに対応し、また、児童の活動が豊かに展開されるために、ふさわしい広さの施設を確保することが必要であることから、現在の場所での建て替えや移転も含め、抜本的な施策を検討します。 なお、当面については、従来どおり修理・修繕を実施し、環境の改善に努めます。</p>

保育所名	第3保育所
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築年度 昭和45年(1970年)度 ・ 定員 120人 ・ 構造 木造平屋建て ・ 敷地面積 1,388㎡ ・ 延床面積 691㎡
現 状	昭和45年建築の木造施設で、39年が経過し、老朽化が進んでいることから、毎年、修理・修繕を行い、環境の改善に努めています。
整備・運営方針	<p>第3保育所は、現在の場所での建て替えは、周辺の道路環境等から、困難であると考えます。</p> <p>今後、保育制度の改革、入所児童の増加、子育て相談などの多様な保育ニーズに対応し、また、児童の活動が豊かに展開されるために、ふさわしい広さの施設を確保するためにも、今後の入所児童の推移を見極めたうえで、他の市内保育所が第3保育所の定員分の児童を受け入れることが可能であれば、一部縮小や閉園も視野に入れて、整備計画を進めます。</p> <p>なお、当面については、従来どおり修理・修繕を実施し、環境の改善に努めます。</p>

保育所名	第5保育所
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築年度 昭和47年(1972年)度 ・ 定員 120人 ・ 構造 鉄筋コンクリート造り2階建て ・ 敷地面積 1,913㎡ ・ 延床面積 1,252㎡
現 状	昭和47年建築の鉄筋コンクリート造りで、37年が経過した保育所です。
整備・運営方針	<p>今後、経年とともに修理・修繕の箇所が出てくることから、従来どおり、修理・修繕等について、計画的に実施し、環境の改善に努めます。</p> <p>また、「向日市公共建築物耐震化事業計画」に基づき、順次耐震診断を行い、その結果、必要に応じて、耐震改修等を検討していきます。</p> <p>運営については、これまでの保育を継続するとともに、北部開発もあることから、今後の保育ニーズにも対応できるように施設に向け、充実させていきます。</p>

保育所名	第 6 保育所
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築年度 昭和 4 9 年 (1 9 7 4 年) 度 ・ 定 員 1 5 0 人 ・ 構 造 鉄筋コンクリート造り平屋建て ・ 敷地面積 2 , 7 2 7 m² ・ 延床面積 9 0 5 m²
現 状	昭和 4 8 年建築の鉄筋コンクリート造りで、3 5 年が経過した保育所であり、市の南東部の開発により、保育所入所希望者が急増している地域の保育所です。
整備・運営方針	<p>今後、経年とともに修理・修繕の箇所が出てくることから、従来どおり、修理・修繕等について、計画的に実施し、環境の改善に努めます。</p> <p>また、「向日市公共建築物耐震化事業計画」に基づき、順次耐震診断を行い、その結果、必要に応じて、耐震改修等を検討していきます。</p> <p>運営については、これまでの保育を継続するとともに、今後の保育ニーズにも対応できるような施設に向け、充実させていきます。</p>

保育所名	新保育所
整備概要	今後の保育制度の改革、入所児童の増加、子育て相談など多様な保育ニーズに対応した、社会福祉法人運営による新保育所を誘致します。
整備内容	<p>設置場所：市南部地域において、保育重要が増えていることもあり、日本たばこ産業社宅跡地である J R 東海道線東側の森本町石田 1 3 番地 3 (2 , 1 4 7 . 4 7 m²) とします。</p> <p>土 地：市において当該土地を買収後、社会福祉法人に貸与します。</p> <p>建 物：社会福祉法人において、建設します。</p> <p>選 定：選定委員会を設置し、公募により選定を行います。</p> <p>規 模：選定委員会において、決定します。</p> <p>開所時期：平成 2 4 年 4 月 (予定)</p>

第4 計画の推進とその評価

この計画は、施設や機能面から公立保育所の役割を強化・充実し、民間保育所とともに多様な保育需要に的確に対応しつつ、保育の質の向上や望ましい保育活動の展開を図っていくものであります。

この計画を着実に推進していく中で、整備の進捗状況や効果を評価し、情勢の変化を勘案して、必要がある場合には、計画を見直します。